

# な が や ま っ 子

校訓 「広げようやさしい心 きたえようじょうぶな体 育てよう学ぶ力」

龍ヶ崎市立長山小学校学校だより

令和7年9月26日 No.12

## 子どもが主役！魅力ある学校づくり推進事業 「いのちの教育講演会」



9月25日(木)に、6年生児童と保護者を対象に、「子供が主役！魅力ある学校づくり推進事業」を活用して、龍ヶ崎済生会病院の陳 央仁先生を講師として「いのちの教育講演会」を開催しました。

「自分らしく生きるために」というテーマで、誰もが愛されるために生まれてきて、存在自体が愛の結晶だということや、自分の命も他人の命も大切にして、夢をもって生きてほしいということをお子たちに伝えていただきました。

陳先生の言葉の一語一語を真剣に受け止め、何度もうなずきながら講演を聞く姿が見られました。「生まれたことを素晴らしいもの」と受け止め、自分を大切に生きてほしいと思います。

陳先生の講演を通して、子供たちが、自分と相手の存在そのものを大事にし、自己有用感に満ちた人生を送ることができるよう願っています。

子供たちの感想を一部ですが紹介します。

- ・命の大切さ、そして自分を産んでくれた親の気持ちがよく分かりました。自分が生まれてきたことが奇跡だということが分かり、ありがたく思いました。
- ・特に印象に残っていることは、妊娠をする確率です。妊娠をする確率はこんなにも低いなんて驚きました。僕たちが生まれてきたのも奇跡なんだと思いました。
- ・命の大切さを改めて知ることができました。アシュリーのメッセージでは、自分らしく生きることや考え方に感動しました。また、出産でも人生でもあきらめないことが大切なんだと思います。私もケニーやアシュリーのようにあきらめない心を大切にしたいと感じました。
- ・命の大切さや尊さなどを改めて実感しました。これからは、今生きていることが奇跡だということを忘れずに生きていこうと思いました。
- ・お母さんが自分の子供のためにととてもつらい思いをしてまで頑張って産んだことを知って、今度の誕生日にお母さんに「産んでくれてありがとう」と言ってみようかなと思いました。
- ・私は自分のことがあまり好きではなかったのですが、ケニーやアシュリーのように障害がある人も前向きに頑張っていることを知って、自分のことを好きになって前向きに生きたいと思いました。